



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月4日
東

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所
 コード番号 7634 URL <http://www.hosi.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)後藤 勇治 (TEL)03(3899)2101
 四半期報告書提出予定日 2022年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	9,064	9.7	1,007	1.7	1,030	3.2	694	3.7
2021年3月期第3四半期	8,259	5.1	990	4.1	998	2.0	669	3.8

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 726百万円 (△13.7%) 2021年3月期第3四半期 841百万円 (9.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	224.73	—
2021年3月期第3四半期	208.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	19,364	14,033	71.4
2021年3月期	18,988	13,461	69.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 13,819百万円 2021年3月期 13,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2022年3月期	—	25.00	—		
2022年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	1.6	1,470	2.3	1,500	2.8	1,020	2.8	321.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	3,420,000株	2021年3月期	3,420,000株
2022年3月期3Q	330,377株	2021年3月期	330,334株
2022年3月期3Q	3,089,665株	2021年3月期3Q	3,208,143株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、COVID-19感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、少しずつ持ち直しつつあります。

このような環境のもと当社グループは、徹底した感染防止策を講じつつ引き続き営業力の強化に注力するとともに、医療・介護・福祉等の現場で、蓄積した各種ノウハウを活用し、多様化する顧客ニーズに即した迅速な対応に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は9,064百万円（前年同四半期比9.7%増）、営業利益は1,007百万円（前年同四半期比1.7%増）、経常利益は1,030百万円（前年同四半期比3.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は694百万円（前年同四半期比3.7%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、COVID-19の世界規模での拡大に伴う影響を受けておりましたが、外来・入院・手術・検査等の回復、新型コロナウイルス患者向けの需要増も相俟って、医療用酸素並びに医療用二酸化炭素の出荷量は堅調に推移しました。

「新型コロナウイルス感染症の診療の手引き・第6.0版」にハイフローセラピー（高流量酸素療法）が追加されたことを受け、同療法を導入した医療機関については、特に医療用酸素使用量の変化を注視しました。また、感染症対策製品の拡販も継続しました。

これらの結果、売上高は2,601百万円（前年同四半期比8.3%増）、セグメント利益は391百万円（前年同四半期比32.2%増）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、COVID-19の影響に伴う在宅医療へのシフトを受け、在宅酸素関連事業は好調に推移しました。

また、次世代ヘルスケアとして、情報通信機器を用いた様々な医療サービスが期待される中、医療従事者と患者様の新しい懸け橋として、医師不足や遠隔地等、急速に高まる医療需要への対応として「オンライン診療システム」の提供を推進してまいりました。

これらの結果、売上高は4,063百万円（前年同四半期比12.1%増）、セグメント利益は357百万円（前年同四半期比12.7%減）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療機関に対し医療用ガスを中心とした設備工事並びに保守点検業務を行っております。設備工事は完工物件が減少した一方、COVID-19の慎重化に伴い保守点検業務は回復してまいりました。

これらの結果、売上高は523百万円（前年同四半期比12.5%減）、セグメント利益は91百万円（前年同四半期比43.6%増）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、介護福祉関連機器のレンタル及び販売部門において、地域包括支援センターや居宅介護支援事業者への継続的な営業活動を図ることによりレンタル売上が順調に推移しました。

また、訪問看護事業所は、都内3拠点を事業基盤として、地域へのPR活動強化による認知度アップとスタッフの増員など運営体制の充実を図り、順調に推移しました。

これらの結果、売上高は662百万円（前年同四半期比9.0%増）、セグメント利益は41百万円（前年同四半期比60.3%減）となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）におきましては、24時間看護師常駐や地元医療機関との連携の更なる構築を図り、高付加価値サービスの提供と、人材育成の体制を強化しました。また、入居者様の多様なニーズを把握したうえで、COVID-19の感染予防とまん延防止を最重視した運営を徹底することで入居者様、ご家族様への「安心」「安全」をお届けし、入居率の向上に努めました。

通所介護施設「あしつよ・文京」（東京都文京区）、「あしつよ巣鴨」（東京都豊島区）、「あしつよ王子」（東京都北区）におきましても、感染防止に留意しつつ、地元密着型のサービスの提供と顧客ニーズの多様化に対応した稼働率アップを図りました。

これらの結果、売上高は268百万円（前年同四半期比1.0%減）、セグメント利益は8百万円（前年同四半期比53.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は19,364百万円(前連結会計年度末比376百万円増)となりました。これは主に、棚卸資産が224百万円、有形固定資産が454百万円、無形固定資産のうちソフトウェア仮勘定が79百万円、投資有価証券が80百万円増加し、現金及び預金が176百万円、受取手形及び売掛金が293百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は5,331百万円(前連結会計年度末比195百万円減)となりました。これは主に、流動負債のその他のうち、未払費用が85百万円、リース債務が85百万円、固定負債のその他のうち、リース債務が98百万円、役員退職慰労引当金が44百万円増加し、未払法人税等が222百万円、賞与引当金が83百万円、流動負債のその他のうち、未払金が91百万円、未払消費税等が90百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は14,033百万円(前連結会計年度末比571百万円増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金の支払い等により利益剰余金が539百万円、その他有価証券評価差額金が41百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、2021年5月14日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,412,714	8,236,602
受取手形及び売掛金	2,488,846	2,195,265
棚卸資産	132,235	356,484
その他	90,339	108,276
貸倒引当金	△2,227	△2,065
流動資産合計	11,121,908	10,894,563
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,112,473	1,070,766
土地	3,261,037	3,462,663
その他(純額)	1,438,192	1,732,563
有形固定資産合計	5,811,703	6,265,993
無形固定資産		
投資その他の資産	8,743	85,980
投資有価証券	947,067	1,027,319
その他	1,100,604	1,092,087
貸倒引当金	△1,766	△1,136
投資その他の資産合計	2,045,905	2,118,270
固定資産合計	7,866,352	8,470,244
資産合計	18,988,261	19,364,808
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,385,394	2,328,481
未払法人税等	324,494	102,143
賞与引当金	154,700	71,300
その他	1,263,270	1,286,628
流動負債合計	4,127,859	3,788,552
固定負債		
役員退職慰労引当金	757,770	802,500
長期預り保証金	5,145	5,145
その他	636,166	735,567
固定負債合計	1,399,081	1,543,212
負債合計	5,526,940	5,331,765

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	528,801	528,801
利益剰余金	12,879,260	13,419,121
自己株式	△933,142	△933,300
株主資本合計	12,911,099	13,450,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	263,226	305,054
退職給付に係る調整累計額	78,897	64,065
その他の包括利益累計額合計	342,124	369,120
非支配株主持分	208,097	213,120
純資産合計	13,461,320	14,033,042
負債純資産合計	18,988,261	19,364,808

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	8,259,550	9,064,849
売上原価	4,033,904	4,611,554
売上総利益	4,225,645	4,453,295
販売費及び一般管理費	3,235,179	3,445,521
営業利益	990,466	1,007,773
営業外収益		
受取利息	2,029	1,283
受取配当金	15,501	16,500
受取家賃	7,663	7,537
仕入割引	3,789	2,671
その他	8,363	3,895
営業外収益合計	37,348	31,888
営業外費用		
支払利息	3,796	6,272
災害による損失	2,200	—
自己株式取得費用	21,329	—
その他	1,538	2,853
営業外費用合計	28,865	9,125
経常利益	998,949	1,030,536
特別利益		
固定資産売却益	27,230	1,916
特別利益合計	27,230	1,916
特別損失		
固定資産売却損	14,702	—
固定資産除却損	19,370	72
投資有価証券売却損	1,061	—
特別損失合計	35,134	72
税金等調整前四半期純利益	991,046	1,032,379
法人税等	317,733	330,800
四半期純利益	673,312	701,579
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,726	7,235
親会社株主に帰属する四半期純利益	669,585	694,344

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
四半期純利益	673,312	701,579
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	157,672	40,280
退職給付に係る調整額	10,733	△15,495
その他の包括利益合計	168,406	24,784
四半期包括利益	841,718	726,363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	835,683	721,340
非支配株主に係る四半期包括利益	6,035	5,023

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,402,492	3,623,026	598,339	607,858	271,579	7,503,296	756,253	8,259,550
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	65,913	—	—	65,913	—	65,913
計	2,402,492	3,623,026	664,252	607,858	271,579	7,569,209	756,253	8,325,463
セグメント利益	295,980	408,860	63,909	103,511	17,844	890,105	100,360	990,466

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	890,105
「その他」の区分の利益	100,360
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	990,466

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,601,422	4,063,044	523,337	662,693	268,862	8,119,359	945,490	9,064,849
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	73,268	—	—	73,268	—	73,268
計	2,601,422	4,063,044	596,605	662,693	268,862	8,192,628	945,490	9,138,118
セグメント利益	391,326	357,056	91,758	41,056	8,244	889,442	118,331	1,007,773

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	889,442
「その他」の区分の利益	118,331
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	1,007,773

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。